

かまた礼二の 議会だより

第3号

2009年11月20日発行

発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp

三島善治『かまた礼二後援会』会長挨拶



後援会並びにご支援ご指導頂いております皆様、いかがお過ごしでしょうか。今回『かまた礼二の議会だより』の第3号を発行するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

すでに第2号での私の挨拶の中で鎌田議員は所属会派ニュー市民クラブ(9名)とご案内致しましたが、6月の定例議会報告を見ますと2名の脱会者があり現在7名とのことです。すでに議会運営にも差しさわりが出てきたかと思われませんが、その辺を会派の方々が一致団結して行政に立ち向かって行って欲しいと願っております。

何事にも率先して議会活動を！！

みなさんから頂いた貴重な意見を一般質問や委員会で発言させて頂いております。ありがとうございます。

市民の皆さまより寄せられた意見を真摯に受けとめ、定例議会の一般質問や委員会等で発言をさせていただきました。

定例議会での一般質問も昨年12月の定例議会より毎回立たせていただき回数も7回目となり積極的に議会活動をさせていただいております。この一般質問では毎回、市民への影響の大きい「市立病院」に関して、そして将来の塩竈を担う子供達を育てる「教育」に関して毎回質問をし続けております。

どうぞ市民のみなさんのご意見やご要望をお寄せ下さい。

今年より『議会運営委員会』の委員をさせていただきます。

この「議会運営委員会」は議会の運営や会議

規則・委員会条例などに関することについて、調査や審査を行う機関です。会派3名に1名の割合で選出し構成しています。我がニュー市民クラブから私を含めて2名となっております。

今後とも、今までの概念にとらわれることなく、皆様の手足となり働きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

平成21年2月の定例議会での質問

市長の施政方針に対する質問

※紙面の関係で私の質問のみを掲載させていただきます。

1、地域経済の活性化について

世界的に経済の落ち込みが激しく、塩竈市に於いても、この不況をのりきるため、『市政運営の基本方針』の第一に、“地域経済の活性化に取り組みます。”と力強くうたっております。



水産業については、「ブランド化」や「漁船誘致活動」、「塩竈フード見本市」を掲げておられますが、何と言っても目玉は「一割増プレミアム商品券」の発行かと思えます。この「一割増プレミアム商品券」の販売方法とどの程度の効果を想定されているのか お聞かせ下さい。

また、「シャッターオープン事業」ですが、本町商店街で新たに店舗が増えた様には思えません。この事業を毎年継続してやっておりますが、実績はどうかをお聞かせ下さい。

続いて、「NEUしおナビ100円バス」ですが、私の知る限りでは、かなりの盛況ぶりの様で、試行運転を終え、有料での運行を行っておりますが、現在の状況をお教え下さい。また、市政方針には

“さらなる利便性の向上に努め、高齢者の外出支援につなげてまいります。”と言っておられますが、具体的にどう考えておられるのかをお聞かせ下さい。

2、市立病院について

私は、今後心配される「鳥インフルエンザ等の感染症」や「宮城県沖地震等の災害」そして「高齢化」を考えた場合、重要な役割を果たす病院であり、塩竈にとっては必要な病院であると考えております。しかし、“市民の中には開業医も多く、近くには大きな病院もあり、本当に必要なのか”という声も聞こえてきます。

「市立病院の改革プラン」が示されておりますが、今期約9億円もの多額の繰り入れがなされ、来年度から平成27年までの7年間、毎年6億円から7億円もの繰り入れがプランに盛り込まれています。このお金があれば、市民へのサービスは計り知れません。この一般会計から市立病院への多額の繰出しが、益々高齢化が進み、市税の増収も望めない塩竈にとっては、かなりの負担になるのではないかと思います。

この「市立病院の改革プラン」の方向性は、これでいいのでしょうか？市長の見解をお聞かせ下さい。また、市政方針に“地域医療を担う病院として存続させるため”と言っておられますが、この「地域医療を担う病院」とは、どういうことかをお聞かせ下さい。

3、学校教育について

元気な塩竈をつくりには教育が重要で、少々時間はかかるが必ず効果が表れると私は考えております。市政方針では、“全国学力・学習状況調査の結果を受け、新たに各小学校に指導教員を配置し、個々に応じたきめ細やかな指導をする”と言っておられます。これは「少人数指導」のことかと思いますが、具体的にどういった形なのかをお聞かせ下さい。

また、今年の「サマースクール」については、どう評価しておられるのでしょうか？ また「サマースクール」の充実と言っておられますが、どう充実を図るのかをお聞かせ下さい。

続いて、「教員の資質向上と指導力向上について」ですが、昨年、塩竈第一中学校の教諭によ

る窃盗、そして杉の入小学校の教諭が脅迫容疑で逮捕されております。この杉の入小学校の教諭については、昨日の朝日新聞に器物損壊容疑で再逮捕したと報じられております。

私は、こういった事件が続き、今、教育現場では児童生徒と父兄からの教師への信頼が揺らいでいるのではと懸念しております。市政方針では、“教職員につきましては、健修の充実を図りながら資質と指導力の向上に努めてまいります。”と言っておられますが、具体的にどういう方策かお聞かせ下さい。

4、滞納・未払いについて

景気の悪化と失業率の上昇により、生活苦を耳にする機会が多い昨今ですが、「滞納や未払い」の状況はどうでしょうか？

予算を見ても市税の落ち込みが大きい中、滞納や未払いが多いと行政運営にも影響が出るのではと心配をしております。市制方針に“県の滞納整理機構に参画云々”とありますが、市民税や固定資産税等の税金、国民健康保険、そして水道や下水道等の公共料金、学校諸費や給食費、市立病院等の診療費や入院費等の滞納・未払いの現状とその回収方法についてお聞かせ下さい。



2回目の質問

1、地域経済の活性化について

まず、地域の活性化についてですが、この1割増しプレミアム商品券、商店の活性化の呼び水になればというふうに思っております。期待をしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それからNEWしおナビ100円バスですが、私の聞くとところによるとかなり評判がいいのですが、やはり要求として多いのが午前中2便、午後1便というこの3便だけなのですね。やはり夕方の1便を追加していただけないかという意見がかなり多く

聞かれます。そんな意味で今後そういった企画をなさっていただくと助かります。よろしくお願いたします。

2、市立病院について

私本会議でも質問をさせていただきましたが、今期9億円という多額の金額を繰り入れているわけです。これをちょっと今年度の市税収入の予算を見ますと約61億円と、これと



元職場の新日本石油精製で

比較をすると今回9億円投入したというのはその約15%位になります。これはとんでもない大きな金だと思います。これはこの間もお話したようにプレミアム商品券の発行を10回位やれるんじゃないかと。それからこの金額でいくと給付金ですか、この給付金が2回ももらえるというそういった金額になるわけです。今後のことを考えると、今後も一般会計からの繰出しが予定されているわけです。これが私は気に入らないといいますか、本来ですと自分たちで黒字を生んで、最終的にはその黒字をもとに一般会計の方に繰り入れるといいますか、累積赤字を解消して一般会計の方に繰り入れるぐらいのそういった計画が必要じゃないかと思っています。この改革プラン、本気でやる気があるのか回答をいただくと助かります。

それから、景気が悪化して失業率も高まっているこの時期に、こういった市立病院に投入するお金があればかなりの市民に対するサービスになるのではないかと。このサービスは計り知れない効果があるのではと思っていますが。その辺の考えについても、ちょっと回答いただくと助かります。

この間の国会中継の予算委員会を見ておりましたが、この間の本会議でも話ができましたが、鳩山総務大臣がこの病院改革についてのこれはいわゆるガイドラインだと、いわゆる指針であると、強制的なものではないというような話をされていました。こんな中この病床数を減らす、161床に減らすということを必ずやらないといけないのか。それだけ

この特例債を利用するメリットがあるのか、どれだけメリットがあるのか。その辺をお聞かせ願えればと思います。私の意見としては、一応このベット数は減らさずに、この得例債を借りずに塩竈独自で病院を生き返らすといいますか再生するといいますか、そういった方向に持って行くのが、私はいんじゃないかと考えますが、そういったことについての見解もお聞かせ願えればと思います。

3、学校教育について

学校教育関係ですが、サマースクールを去年私も見させていただきました。生徒も熱意込めて勉強していたというふうに私は思います。ですが、これを限られた人だけではなく、強制でないにして全校生徒に呼びかけて全校で行うような、そういった規模を大きくしてのサマースクールにならないものかと考えています。

それからその教師の資質についてですが、私はトップに立つ人の資質でやはり決まってくると思っています。そんな意味で学校教育については、学校の先生でそういった教育レベルやら、それから学力やら、みんな決まってくるんじゃないかと考えています。そんな意味では、夏休みの半分を教師がサマースクールの指導を、残りの半分を教師のサマー研修として開催して、この教師の資質レベルアップに努められないかと思いますが、これについてはいかがでしょうか、教育長の見解をお聞きしたいと思います。

それからこの少人数制なんですけど、5年生の算数を中心にということでありますが、将来的にはやはり読解力が基本になるということも去年もこの議会で言わせていただいたのですが、やっぱり国語にも教科を広げてその読解力をつけて学力を底から持ち上げるといいますか、そういう形に将来的にはするようお願いしたいと思っています。

4、滞納・未払いについて

最後に滞納・未払いについてですが、やはりこういった時代ですから大変なんでしょうけれども、やっぱり払ってもらわないといけないところはあるわけです。あまり厳しい取り立てではなくて、こういう時代だからこそ少しずつ払うとか分割して払うとか、そういった配慮を十分にさせていただいて徴収に努めていただきたいと思います。

3回目の質問

2、市立病院について

市立病院についてですが、この改革プラン、もう平成27年まで7年間にもわたってこの繰出しを続けていくというこの計画が気に入らないのです。どうしてもやはり、この黒字を生んでいただいてそれで支払いをしていただくという心づもりがこの改革プランに私は欲しいわけです。それがみじんも見られないというところに私は怒っているわけです。まあこの改革プラン今回出されましたけれども、今後また見直しといいますか。その辺もお聞きしたいと思います。

それからこの市立病院については、地域医療やら市民の健康という題目のもと市民にかなりの負担を強いていないかと。先ほど私が話をしましたように、このプランはその市民税ですか市税ですか、これの15%位に及ぶ金額を今回支出して、今後も1割くらいの金額をここに投入していくという、そういう形になっているわけですね。これが私はどうも理解できない。やはり本気でやる気があるならプランとして、方向性として、目標として、まあ来年は収支の均衡を保つと。それ以降については黒字を生んで毎年5,000万なり1億なりずつでもこれを減らしていくって、自分たちのお金でこの赤字を減らしていくというそういうプランを、というふうに私は考えています。これは私だけじゃなくて、市民がこの金額を、市税の15%という金額を今回投入していると、今後も1割近く投入していくという、これを市民が聞いたらびっくりするんじゃないかと思えます。そこまでして本当に市立病院が必要なのかというふうな話になると思うのです。そんなわけで、この地域医療やら市民の健康という題目のもとに、市民に多大な負荷をかけていないか。それからこのプランについては、先ほど言ったように毎年見直ししていくといいますか、そういう方向性があるのかどうか最後にお聞きして今回の質問を終らせていただきます。

平成21年6月の定例議会での一般質問

※紙面の関係で私の質問のみを掲載させていただきます。

本議会初日に慣例をやぶり また議長を続けられる志賀議長さん再選おめでとうございます。

志賀議長さんは漁業関係者でもあり、“今年開催される特三漁港の大会は自分でなければ出来ない”、“誰にも任せられない”と豪語しておられました。その自信の程が、翌日の河北新聞にも掲載されておりました。

魚市場改革や漁船誘致などにより、これからの2年間で一般会計からの繰り出しの必要のない魚市場、そして下がり傾向にある水揚げ量に歯止めをかけ、大幅に水揚げを増加させてくれるものと大いに期待をしております。

また、今回の議長選では 共産党・公明党さん等のほとんどの党派より支持を受け、議員数の3分の2の票数を獲得しました。今後は、ご支持いただいた各党派より協力いただき強いリーダーシップで元気な塩竈、活気ある塩竈、住み良い塩竈をつくってくれるのではとご活躍をご期待申し上げます。

それでは、質問に入らせて頂きます。

1、市立病院について

「市立病院改革プランでの各年度繰入計画」に基づき昨年度は、約9億円もの繰り入れを行いました。「塩竈市立病院の今後のあり方審議会」の

総務教育常任委員会の大分杵築市行政視察で



答申書を受けて、今年度より改革プランに基づき病院改革が進められていることと思いますが、現在の状況をお聞かせ下さい。

また、病院改革に取り組まれて月日は浅いものの4月・5月期の収支、病院経営の状況が分かりましたらお聞かせ下さい。

2、魚市場の経営について

次に魚市場の経営形態について お聞きしたい

と思います。先月、ニュー市民クラブとして、志賀議長さんも一緒でしたが、鹿児島県の枕崎市と宮崎県日南市へ視察に行つて参りました。視察目的は主に魚市場運営と漁船誘致でした。私は、魚市場と言えば、塩竈市の魚市場から市や町などの公営が一般的だと思つておりましたが、視察先の魚市場は漁協が経営をしておりました。

ここでお尋ねしたいのは、全国的に魚市場の経営形態は町や市等の公営が多いのか、または漁協等が経営する民営が多いのか、一般的にはどうなのかについてお聞かせ下さい。合わせて塩竈魚市場は、なぜ市で経営をしているのか理由をお聞かせ下さい。

3、市営住宅について

昨年、知り合いより市営住宅に入居出来ないかとの相談がありました。早速、入居の申込を行いましたが高かなか抽選に当たりません。結局、市営住宅には入れず、その時並行して申し込みをしていた県営住宅に入居いたしました。

昨年からの景気の後退により市営住宅への入居希望も増えているのではと思いますが、市営住宅入居者の現状と申し込み状況についてお聞かせ下さい。また、市営住宅の建設予定等の長期ビジョンについてもお聞かせ下さい。

4、市内のバリアフリーに対する考え方

バリアフリーという言葉は最近よく耳にする言葉ですありますが、高齢化が進んでいる塩竈では特にバリアフリー化が必要であると思つています。塩竈市として『バリアフリーに対する考え方』をお聞かせ下さい。

5、学力向上対策事業について

今年度より予算化し、市内各小学校へ教員1名の増員を図りました。このことにより、小学校5年生の算数の少人数指導が始まっておりますが、その現状と効果についてお聞かせ下さい。

2回目の質問

1、市立病院について

まず、市立病院関係であります。今の説明を聞いておると、もうかなり効果があらわれているという状況でうれしく感じております。この中で私、前から話をさせていただいておりますが、お金をかけなくてもできることがあるのではないかとこの

とです。普通の会社ではよく改善提案制度というものがありますが、市立病院ではそういった改善提案制度ですね。こういった作業は、こういったことはこういった内容であれば合理的だとか、経費がかからないとか、そういった提案制度、改善提案制度は市立病院にはあるのかどうか、ちょっとお聞かせ願いたいと思つています。

それから、今の内容を聞いていますと、今後の見通しはいいのかなと、良好なのかと思つていますが、その他に今考えられる方策はないのかどうかお教え下さい。

それで、私がこの市立病院で市民からの声を何人かに寄せられているんですけども、やはり「以前とは違ってかなりよくなったよ」と、先ほど説明にもあったように待ち時間も少ないしということで評判は良好ですが、医師の横暴ぶりを耳にしました。事務員さんや看護師さんの方は対応が改善されているもののお医者さんまで及んでいないのでは。これは一部のお医者さんだということですが、その辺についてどう考えられているのか、回答をお願いします。



2、魚市場の経営について

魚市場関係についてですが、昨年は累積赤字解消のために多額の繰出しを行つてわけですが、今年度の予算でも約4,000万繰り入れを予定しております、これを見ますといわゆる予算の30%がもう繰り入れになっています。この割合ですね。もうちょっと改善の余地があるのでは、しっかりしないといけないのではないかと私は思つていますが、その辺の考え方についてお聞かせ願えると助かります。

市場経営は、先ほど公営が多いということで数

を挙げていただきましたが、現実に漁協さんが経営運営されていて、この間行った鹿児島県枕崎ではなかなか熱意があってみんな一致協力して打ち込んでいるなあというふうに私は見受けられましたが、なぜ塩竈は民営化できないのか。やはりそういう方向で進んでですね、ないしは進まなくても検討することは必要じゃないかと思えます。市立病院のこの間のあり方審議会ではありませんが、市立病院の次は魚市場関係のそういった審議会の設置やそういったことが必要なのではないかと思えますが、その辺の回答をいただくと助かります。

昨年燃油高騰で補助金を出しておりますが、その効果を知りたい。塩竈船籍、それから県内外の船籍の補助を出していたかと思えますが、塩竈港への水揚げ実績を概略で結構ですので教えて下さい。

3、市営住宅について

市営住宅関係ですが、先ほど出ましたが玉川市営住宅、私はたまたまあそこを通過してびっくりしました。30年、40年位前にタイムスリップしたような感じがしました。かなり年期が入っているといえますか、古い建屋でして、今どきこういうのがあるのかなというふうに思いましたが、聞くところによると料金の安さやら何やらで、それはそれで重宝されているようではあります。やはり建てかえの時期ではないかと思えますので、優先的にお願いしたいと思えます。

私が相談を受けた人もなかなか市営住宅に入れなかったのですが、やはりこの先ほどのデータをお聞きすると年間当たりその申し込みの5分の1くらいしか入居できないという割合だと思えますが、もう少し高める意味でも民間の住宅の活用は出来ないものかなあと。市として一時借り受けをして市営住宅として使うようなそういった方法は考えられないものかどうか、その辺をお聞かせ願えればと思えます。

5、学力向上対策事業について

学力向上についてですが、いろいろと効果が出ているようでうれしくなりました。今後とも期待をしておりますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

3回目の質問

1、市立病院について

まず、市立病院ですが、このお医者さんの横暴ぶりについては本人も命が短いといえますか、そういった状況であって、なおかつ家族も深刻な状況を抱えて悩んでいる中、お医者さんからの暴言で傷ついたということですが、聞くところによるとその人はその1件だけではなくて多数あるというようなことも聞いております。先ほど院長先生も説明があったとおりの指導はされているとは思いますが、今後ともそういったことがないようにご指導をよろしくお願ひしたいと思います。

2、魚市場の経営について

それから魚市場関係ですが、よく理解ができなかったのですが、早い話が塩竈で今回補助で効果があったのかなのか。

それから、いわゆる塩竈船籍で補助をだしているものの、塩竈に水揚げがない船はないのか。全部が補助を出している船は塩竈にほとんど入っているのか、水揚げがあるのかどうか、その辺をポイントを捉えて説明をいただきたいと思えます。



保護司募集(塩竈市保護司会)

保護司は、犯罪を犯した人達の更生を図るのが大きな仕事です。現在、塩竈市では15名の保護司の方々が活躍しておりますが、必要な人数に達していません。

得に条件はありません。75才未満で情熱ある方であれば何方でも可能です。あなたも保護司として社会に貢献してみませんか。

◎問い合わせ 090-8921-3783(鎌田)